

コミュニケーション・自己表現 ルーブリック

スタンダード：患者・生活者のもつ課題に対して、自らの情報発信とメッセージの受け取りを通じて理解を深めるとともに、さまざまな人たちとの連携と協働により課題に向き合う。

観点	4. キャップストーン	3. マイルストーン	2. マイルストーン	1. ベンチマーク	0. ベンチマーク以前
相互理解	相互理解に基づいて相手の状況を適切に把握し、それに合わせて相手のために行動している。	相手への伝え方を配慮するとともに、相手が伝えたいことを途中で遮ることなく傾聴し、共感し、相互に理解し合う態度で相手に接している。	わかりやすい言葉や言い回しをするなど、相手に配慮した伝え方をしている。	周囲の人たちと日常的に挨拶を交わしている。	周囲の人たちとの関わりに積極的ではない。
連携・協働	発展的に意見の違いを乗り越え、目標達成に向けて連携・協働して活動を実践するとともに、関係者で活動を振り返りその先の活動に生かしている。	チーム内に意見の違いがあっても安易に妥協することなく、意見の違いに向き合って乗り越えようと行動している。	目標をもってチーム活動する際、チームメンバーにはそれぞれ役割があり、それを尊重しながら活動することの重要性を理解して行動している。	チーム活動はしているが、チームメンバーそれぞれ役割に関する認識が不足している。	チームでの活動にうまく参加できない。
自己表現	客観性のある自分の意見を背景の異なる人たちに伝え対話することを通じて、自らの表現力の向上を図っている。	他者と自分の意見の調和を図るとともに、関連する情報を用いながら説得力をもって相手に伝えている。	自分や他者の考えを整理し、自らの意見として相手に正しく伝えようとしている。	自分の考えを言葉として表現している。	自分の考えを言葉としてうまく表現できない。

